



ひとりでも簡単！ 軽度認知障害や認知症状の早期発見！ 物忘れ相談プログラムを市内 7 施設に導入

生駒市は、市役所と市内 6 ヲ所の地域包括支援センターに、MCI（軽度認知障害）や認知症状を有する方を早期に発見するための認知症スクリーニング機器「物忘れ相談プログラム」を 7 月から導入しています。

■ 簡単操作で認知症を診断

このプログラムは、タッチパネルによるセルフチェック方式で、質問項目は少なく約 5 分で実施可能なので、誰でも簡単にテストできます。

MCI（軽度認知障害）を早期に発見することで、認知症予防の教室に案内することができ、進展予防に取り組むことができます。また、かかりつけ医への相談や専門医の受診に繋がり、早期診断・治療開始が可能となります。



■ 施設でもイベントでも活用

◇ 次の 7 施設で体験できます。

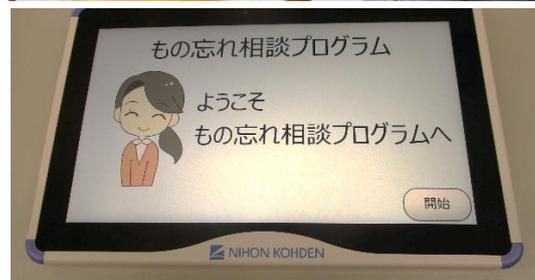
生駒市役所地域包括ケア推進課窓口、フォレスト地域包括支援センター、阪奈中央地域包括支援センター、東生駒地域包括支援センター、社会福祉協議会地域包括支援センター、梅寿荘地域包括支援センター、メディカル地域包括支援センター（あすか野支所）

※ 貸出やイベントなどに持ち出している場合がありますので、体験を希望される場合は事前にご連絡をお願いします。

◇ 今後、認知症サポーター養成講座、認知症サロン等への機器の貸出も予定しています。

◇ イベントでの活用も予定しています。

9 月 2 日（土）福祉と健康のつどい、11 月 25 日（土）（仮称）認知症にやさしい図書館、
2018 年 1 月 23 日（火）（仮称）若年性認知症シンポジウム



■ 高齢化が進む生駒市は認知症予防に力を入れています

生駒市は高齢化が進み、団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）となる平成 37 年には高齢化率が現在の 26.6%（平成 29 年 6 月 1 日現在）から 29.3%まで上昇すると推計されています。

また、現在市内の要支援・要介護認定者は約 4600 人ですが、平成 37 年には約 7,800 人に増加すると見込まれています。一般的に、要支援・要介護認定者の半数程度の方が、何らかの認知症の症状を有すると言われています。本市では認知症予防に力を入れており、地域住民や地域包括支援センター等と共に、認知症にやさしいまちづくりを推進しています。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域包括ケア推進課（課長 田中） ☎0743-74-1111(内線 461)